

## 海の冒険シリーズ③ キッズ海のたんけんたい 同窓会

### 1. 参加者

募集人数	応募者数	参加決定数	参加者数
—	41	41	35 (福井県 25、滋賀県 4、大阪府 3、岐阜県 2、奈良県 1) キャンセル6

### 2. 事業内容（概要）

#### ◆ねらい

- ・平成24年度教育事業の「海の冒険シリーズ① キッズ海のたんけんたい」の参加者が再び一堂に会し、共に活動することを通して当時の学びを再確認し、さらなる交流を深める。
- ・保護者会を開催し、事業前後の子どもたちの様子を交流しあうとともに、今後の事業展開の参考とする。
- ・ボランティアリーダーが事業を企画・運営することにより、実践力を高める。

#### ◆期日・期間

2012年12月8日（土）～ 2012年12月9日（日） 1泊2日

#### ◆後援・協力団体

なし

#### ◆参加者分析

- ・海の冒険シリーズ①の参加者24名中、20名の参加があった。事情があり、不参加の者も、参加希望は強かった。
- ・家族ぐるみで参加した家庭もあり、当施設事業への関心の高さがうかがえる。

#### ◆ 企画のポイント

		14		15	16	17	18	19	20	21	22	
12月8日（土）		受付		はじまりのつどい	活動① 親子で活動①		休憩・ 歓談	夕食	活動② こども：お楽しみ会 保護者：懇談会		入浴準備	就寝
		7	8	9	10	11	12	13				
12月9日（日）	起床・洗面	朝のつどい	朝食	清掃	活動③ 親子で活動②		会食	おわりのつどい	解散			

- ・夏の事業後に「同窓会」という形式で再度集まる機会をもうけて、参加者の成長や参加者同士の交流を深めることを主眼とした。また、保護者が参加し、家庭での参加者の変容や保護者の意見を聞くことで、事業の効果を客観的に追跡することを企図した。

#### ◆運営のポイント

- ・同窓会は12月実施なので、夏の事業をふり返るような水辺活動が実施できないため、海にちなんだクラフト作成や、夏の事業で用いた同一アイテムを活用することで、事業当時のふ

り返りが行えるようにした。

- ・保護者会を設定することで保護者方の意見を聞き、参加者の成長を捉えるようにした。また、保護者同士の交流の場も設定し、子育ての情報交換が出来るようにした。
- ・ボランティアリーダー主体の時間帯をもうけ、リーダーの実践力の向上を図った。

◆安全管理のポイント

- ・活動の際には、班に複数のボランティアリーダーを配置し、参加者の指導に当たった。
- ・夏の事業時と同一班、同一メンバーでの構成を行い、参加者がスムーズに活動できるように配慮した。
- ・参加者が小学校低学年ということを考慮し、活動内容、使用物品を厳選し安全に配慮した。

### 3. アンケート結果

#### (1) アンケート

参加者	4	3	2	1
事業全体をとおしてどうでしたか	88%	6%	6%	0%
この事業のプログラムはどうでしたか	82%	15%	3%	0%
この事業の運営はどうでしたか	65%	32%	0%	3%

4 満足 3 やや満足 2 やや不満 1 不満

#### (2) 参加者の声

(子どもの感想より)

- ・友だちともっとなかよくなれてよかった。
- ・新しい友だちができたり、いろんなものをつくったからたのしかった。

(保護者の感想より)

- ・自立の助けになるよいイベントだと感じました。
- ・一緒に参加したが、親に頼ることがなく自分で行動していてとても楽しそうでした。
- ・親も子ども〇〇ちゃんのお母さんという縛りのない中で活動でき、とてもためになった。
- ・親同士も初めてなのにいろんなことをお話しできて自分自身も楽しい時間を過ごすことが出来た。
- ・自分の子どもも将来、ボランティアスタッフとしてお手伝いが出来ればいいなと思いました。

### 4. 成果と課題

#### (1) 成果

- ・昨年度の課題をうけて、内容を精選しゆとりを持った構成としたことは参加者から好評であった。
- ・はじまり式直後に思い出ビデオの上映、海の生き物の折り紙活動、夜の宝探しでの「海のほんぶからの指令書」と夏の活動とのつながりを意識したアクティビティを実施することで、スムーズに旧交を温め、全員が溶け込める雰囲気を手早く醸成することができた。
- ・保護者会の場で夏の事業後の変容を詳細に掴むことができ、また今後の事業展開に参考となる有益な情報も多々得ることができた。

#### (2) 課題

- ・親の活動、子供の活動、親子で同時に行う活動をさらに明確に分けることで、保護者、子供それぞれにメリハリのある活動プログラムとなる。
- ・多忙な12月を避けて欲しいという要望が保護者からあった。
- ・夏の事業に参加したボランティアリーダーの出欠が本事業の展開に大きく作用する。

## 5. 活動の様子

